

出来高賃金の計算表

事業場名：_____ 氏名：_____ 賃金計算期間：_____ 地域別最低賃金（時間額）：_____ 保障給（1時間あたり）：_____

日付	作業・品目	出来高（数量）	単位	単価（円）	出来高賃金（数量×単価）	出来高で働いた時間	1時間あたり（参考）	深夜の時間（22時～5時）	備考

- 最低賃金を下回っていないかは、1日ごとではなく賃金計算期間（締切期間）ごとに、「出来高賃金の総額 ÷ 出来高で働いた総労働時間数」で確かめます（最低賃金法施行規則2条）。「最低賃金・保障給のチェック」シートを使ってください。
- 出来高払制で人を使う場合、労働時間に応じた一定額の保障（保障給）を決める必要があります（労働基準法27条）。保障給の額や支払い方は、雇用契約書や就業規則に書いておきます。
- 記入例の氏名・単価・数量・最低賃金額は架空のものです。実際の最低賃金額は、厚生労働省「地域別最低賃金の全国一覧」で都道府県ごとに確かめてください。

出来高払の最低賃金・保障給のチェック表

事業場名： _____ 賃金計算期間： _____ 地域別最低賃金（時間額）： _____ 保障給（1時間あたり）： _____

項目	計算のしかた	記入例（佐藤 花子）	氏名（ ）	氏名（ ）	氏名（ ）
① 出来高賃金の総額	期間中の出来高賃金の合計。深夜割増のうち割増分・通勤手当・臨時の賃金は除く	96,000円			
② 出来高で働いた総労働時間数	期間中に出来高払で働いた時間の合計	88時間			
③ 出来高の時間換算額	① ÷ ②	1,090.9円			
④ 固定給の時間換算額	日給・月給などを併せて払う場合。日給 ÷ 1日の所定労働時間など。なければ0	0円			
⑤ 1時間あたりの賃金	③ + ④（時間給で働いた分は別に時間給で比べる）	1,090.9円			
⑥ 地域別最低賃金（時間額）	都道府県ごとの額	1,050円（仮）			
⑦ 最低賃金との比較	⑤ ≥ ⑥ なら OK。下回るときは差額を支払う	OK			
⑧ 保障給の額	保障給（1時間あたり） × ②	92,400円（1,050円×88時間）			
⑨ 保障給との比較	① ≥ ⑧ なら OK。下回るときは決めた方法で不足分を支払う	OK			
⑩ 支払う出来高賃金	⑦・⑨で不足がなければ①	96,000円			

- 最低賃金の比較から除く賃金は、臨時に支払われる賃金、1か月を超える期間ごとの賃金（賞与など）、所定労働時間・日を超える労働の賃金、深夜割増のうち割増分、精皆勤手当・通勤手当・家族手当などです（最低賃金法4条3項、同法施行規則1条、厚生労働省の案内）。
- 固定給と出来高給を併せて払う場合、固定給は所定労働時間で、出来高給は総労働時間数で、それぞれ時間額に直して合計します。
- 保障給の額は法令に決まりがなく、通達では「通常の実収賃金とあまりへだたらない程度」「少なくとも平均賃金の6割程度」が目安とされています。記入例は、わかりやすさのため保障給を最低賃金と同じ額にしています。社会保険労務士や労働基準監督署に確かめてください。